



# 地域子育てネットワークだより

令和4年2月号

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県企画県民部女性青少年局男女家庭課

E-MAIL : danjokatei@pref.hyogo.lg.jp 電話 : (078) 341-7711 (内線 2798)



## 子育て支援メッセ

in ひょうご

2022.2.27(日)

11:00 ▶ 15:00

入場  
無料

子育て支援団体や企業、行政などが集まって、子育て中のパパママ、支援者がつながるイベントを開催します！

コロナ禍の状況を考え、今年は県下3つの会場を繋いで、オンラインでも子育てプログラムを配信します！ミニコンサートや小児科の先生や助産師の方による相談などもあり！各会場へ来場いただいてもOKです！

### 2.27(日)リアル開催会場はコチラ

神戸会場 BRANCH 神戸学園都市 1F 森の広場

※雨天の場合はオンライン開催となります

西宮会場 西宮市民会館

龍野会場 みんなのつどい場 すーぷ・すーぷ・CO-OP

### オンラインでの参加はコチラ

後日オンラインをご視聴いただくための URL を送ります。



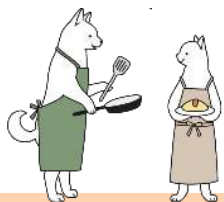
※今後の県内での感染状況を考慮し、リアル会場での開催は中止となる場合もございます。

詳細情報、最新情報は専用 WEB ページをご覧ください。



主催：子育て支援メッセ in ひょうご 実行委員会  
ひょうご子育てコミュニティ事務局 (NPO 法人さんぴいす)  
TEL : 0797-63-5566 ✉hkc.members@gmail.com

## 『ゆる家事大作戦』兵庫県が配信スタート！



県では、家事負担の軽減や家族みんなでシェアができる工夫や、家事を楽しい時間に変えるヒントや体験レポートを発信しています！

- # 1 トップブロッガー・ナコさんの“ゆる家事スタイル”って？
- # 2 炒めるだけのお料理セットでパパが本格中華に挑戦！
- # 3 手近に掃除用具を置けばみんなでちょこっと掃除でできるね

など、合計5本が掲載中！



「家事に関するアンケート」のご協力をお願い (2/14 まで)  
「家事負担の現状」、「実践している“ゆる家事”」について伺います。  
いただいた回答は集計の上、ホームページ内で紹介させていただきます。

アンケートはコチラ→



兵庫県『ゆる家事大作戦』ページはコチラ→

(問) 兵庫県男女家庭課 078-362-3385



## 子育て応援ネットの活動紹介

声かけ・見守り活動などで子育て家庭を応援する「子育て応援ネット」の各地の取り組みを紹介します

私たちは、女性が中心に活動する町内の5団体で構成し、**子育て家庭の支援を目標に**活動しています。

特に、年間を通じて町内4小学校の登校時に校門前で、**あいさつ運動・見守り**を行い、子どもたちの成長を見るのを楽しみに活動しています。

また、毎年6月頃に**子育て家庭応援推進員の交流会**を開催し、各校区並びに全校区での**意見交換を実施**し、今後の活動に役立てると共に**注意すべきケースがあれば関係機関に情報を伝達**し対応を依頼しています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症によって、活動の大半は中止しなければならないといった、これまでに経験したことのない状況にありました。

しかしながら、このような状況にあっても、子育ての各種ノウハウを子育て世代に伝えることができないか、知恵を絞りながら活動していきたいと考えています。



播磨町女性活動活性化事業推進協議会 会長 楠元直美

## まちの子育てひろばの紹介

### 赤穂市「坂越地区母親クラブ」

赤穂市の「坂越地区母親クラブ」は都市景観大賞にも選ばれた古くからある美しい景観と海、山、川、に囲まれた自然豊かな坂越地区のママと未就園児を中心に活動している子育てサークルです。

月に2度午前中に活動しており、令和元年度からは常設活動日を設けて**季節遊びや昔遊び、自由遊びなどを通じた共同保育、母親同士の交流**を行っています。

昨年はひろばアドバイザーのバルーンアート・マジックの先生にお越しいただき、子どもたちは初めて見るマジックやバルーンアートに目が離せないほど夢中になっていました。

コロナ禍でなかなか活動できない時期が続きましたが、感染対策をしながら少しでも**ママたちや子どもたちの楽しい憩いの場**として活動していけるようにしたいと思います。



坂越地区母親クラブ 代表 前田 葉都季

## 第155回



## お金と子どもたち

県立こども病院名誉院長 中村 肇

小学5年生の孫娘が、「授業の休み時間に、『金や、金や、世の中金や』と大声で教室内を駆け回る男の子がおるねん、おかしいと思わへん?」と話してくれました。

小学5年生の家庭科では、「**お金**」をテーマにした授業があるそうで、そのテーマは「**かしこい消費者を目指して**」になっています。そのねらいとしては、物や金銭の**計画的な使い方、身近な物の選び方、買い方を身に付ける**ことになっており、実際の授業でも、フリマアプリの話があったそうです。

日本銀行からも、インフレ・デフレの話、そして物価の安定がなぜ大事なのかについても学ぶように子ども向けの冊子が出版されています。

昔の子どもには、無駄遣いをしないように、お年玉を大切に蓄えておくようにと渡していました。今は様変わりし、テレビでは子どもたちの消費をあおるコマーシャルが多く見られます。

子どもたちが、**物や金銭の大切さについてよく理解し、買い物や金銭の使い方**をして欲しいものです。